

科目名	単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
日本史探究	前期	2	2年次以降	選択	12	3	6
	後期	2			12	3	6
使用教科書	東京書籍 701 日本史探究						
科目の概要	原始・古代から現代までの日本の通史です。日本の近・現代の基礎と、現代日本の形成過程を理解します。						
年間 学習 計画	学習内容		学習のポイント		面接指導	添削課題	
	・先史社会の生活と文化 ・歴史資料と先史・古代の展望 ・古代社会の形成と展開①		○先史社会の生活と文化について理解し、判断できる。 ○歴史資料と先史・古代の展望を理解し、判断できる。 ○大和王権と古墳文化、飛鳥の朝廷について理解し、判断できる。		前期 1・2	No.1	
	・古代社会の形成と展開② (P34~P64)		○律令国家の形成と白鳳、天平文化について理解し、判断できる。 ○平安遷都と唐風文化について理解し、判断できる。 ○摂関政治と貴族文化について理解し、判断できる。		前期 3・4	No.2	
	・中世社会の成立 ・歴史資料と中世の展望 ・中世社会の展開①		○中世社会の成立および展開について理解し、判断できる。 ○中世日本と世界について提示された内容を理解し、判断できる。 ○条件に従い、情報を選択し、文章でまとめることができる。		前期 5・6	No.3	
	・中世社会の展開② (P98~P122)		○南北朝の動乱、室町幕府の成立、倭寇、室町時代の社会と経済活動、自立する戦国大名について理解し、判断できる。 ○室町文化について、提示された内容を理解し、判断できる。		前期 7・8	No.4	
	・近世社会の形成 ・歴史資料と近世の展望 ・近世社会の展開①		○近世社会の形成と展開について理解し、判断できる。 ○近世社会の展開について提示された内容を理解し、判断できる。 ○条件に従い、情報を選択し、文章としてまとめることができる。		前期 9・10	No.5	
	・近世社会の展開② (P145~P165)		○幕藩体制の確立について理解し、判断できる。 ○幕藩体制の確立について提示された内容を理解し、判断できる。 ○指示された条件に従い、文章としてまとめることができる。		前期 11・12	No.6	
	・近世社会の展開③ (P166~P186)		○近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について理解し、判断できる。 また、提示された文の内容を理解し、判断できる。 ○指示された条件に従い、文章としてまとめることができる。		後期 1・2	No.7	
	・近代社会の幕開け ・歴史資料と近現代の展望 ・近現代社会の展望①		○近代社会の幕開けについて、理解し、判断することができる。 ○近現代社会の展開について、文の内容を理解し、判断できる。 ○指示された条件に従い、文章としてまとめることができる。		後期 3・4	No.8	
	・近現代社会の展望② (P218~P239)		○国民国家と資本主義の成立について理解し、判断できる。 ○国民国家と資本主義の成立について提示された内容を理解し、指示された条件に従い、まとめることができる。		後期 5・6	No.9	
	・近現代社会の展望③ (P240~P269)		○両大戦間期の日本について理解し、判断できる。 ○第二次世界大戦と日本についての文を理解し、判断できる。 ○指示された条件に従い、必要な情報を選択しまとめることができる。		後期 7・8	No.10	
	・近現代社会の展望④ (P270~P291)		○占領と改革について提示された文の内容を理解し、判断できる。 ○国際社会への復帰と高度経済成長について理解できる。		後期 9・10	No.11	
・近現代社会の展望⑤ ・現代の日本の課題の探究 (P292~P321)		○アジア情勢の変化と経済大国日本について理解し、判断できる。 ○新しい国際秩序と日本の課題について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。		後期 11・12	No.12		
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み（意欲、興味、関心、理解度など） ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）						
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各3時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各6回提出してください。 ・2年次以上で4単位修得します。						